

総合型選抜
説明

法学部

Faculty of Law

説明会の内容

- 1 法学部総合型選抜入試の概要**
- 2 活動評価型（レポート方式）の説明**
- 3 探究実践型（ゼミナール方式）の説明**

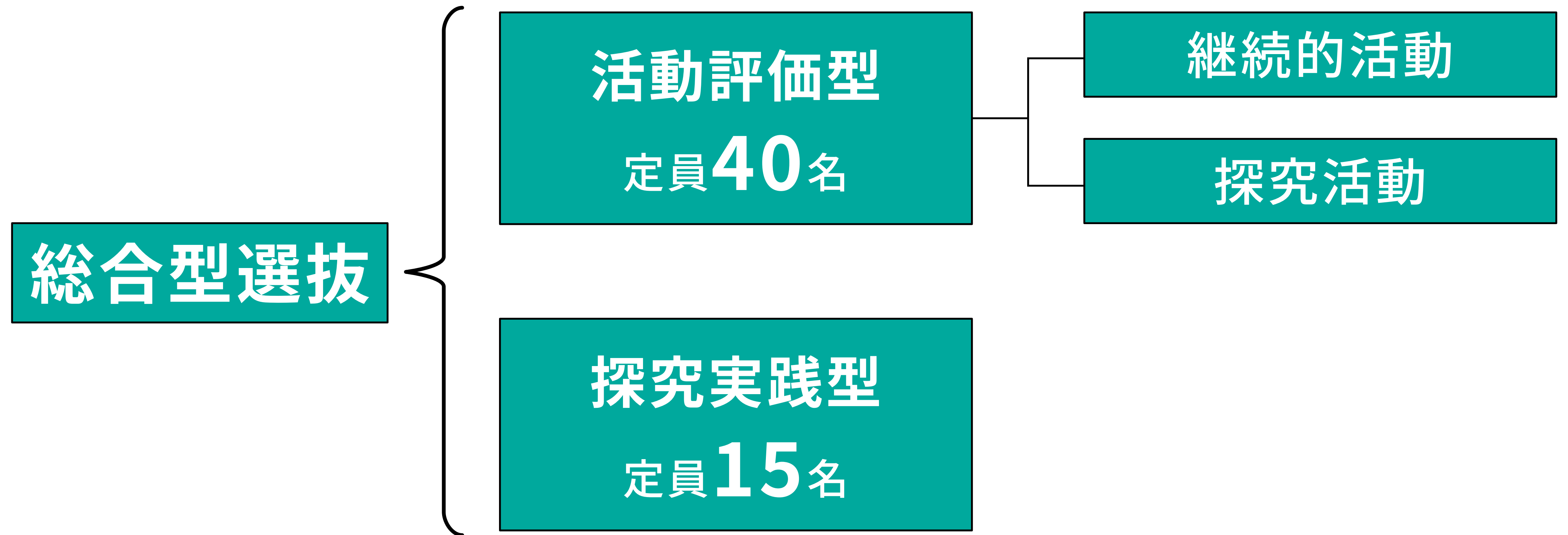
説明会の内容

1 法学部総合型選抜入試の概要

■ 活動評価型（レポート方式）の説明

■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

法学部総合型選抜入試の概要



活動評価型と探究実践型は併願が可能です

活動評価型（レポート方式）

高校時代を通じて、**継続的活動や探究活動に取り組んだ人**で、
今後はその意欲を「法学」の学修に向ける熱意のある人を求めます

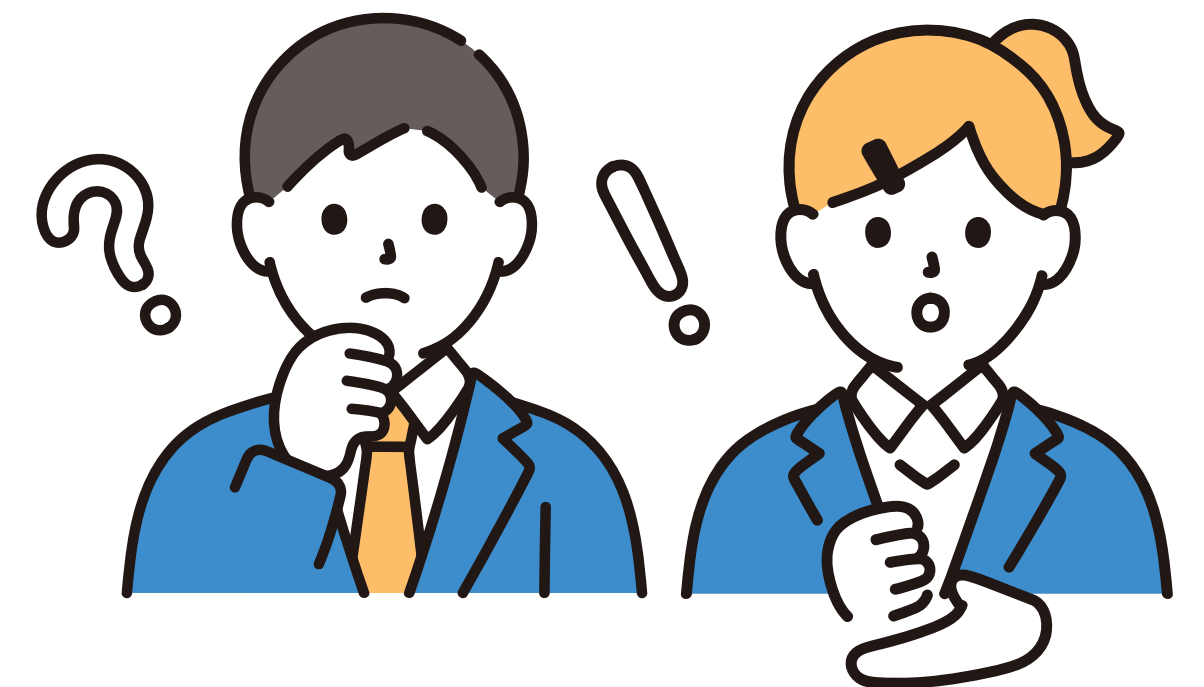
40名 募集
活動評価型（前期）



探究実践型（ゼミナール方式）

グループディスカッションで他者と関わる中で、議論をリードしたり整理したりするなどにより、**議題についてグループで話し合い、グループで1つの提言をまとめていくことのできる人**を求めます

15名 募集
探究実践型（前期）



出願・試験日程

■ 出願期間

2025年 **9月1日**(月)～**9月10日**(水) **16:00**

■ 第1次選考

書類選考(来校の必要はありません)

■ 第2次選考

活動評価型(面接): 2025年 **10月18日**(土)

探究実践型(グループディスカッション): 2025年 **10月19日**(日)

重要

総合型選抜入試説明会への参加

- 説明会で実施されるアンケートを提出
 - ▶ アンケート提出がないと出願は受け付けられません
- 説明会への参加方法は下記のいずれか
 - ① この動画を視聴
 - ▶ 入試情報サイトで 7月20日から公開
 - ▶ アンケートは動画視聴後にフォームで回答
 - ② 来校型オープンキャンパスで開催される説明会
 - ▶ 終了後にアンケートフォームに回答

重要

総合型選抜入試説明会への参加

参加方法① 動画視聴の場合

■ この動画の公開期間は

2025年 **7月20日(日)～9月10日(水) 16:00**

※期間内であれば何度でもご覧いただけます

■ アンケートの提出方法はこの動画内で説明します

重要

総合型選抜入試説明会への参加

参加方法② 対面参加の場合

- 来校型オープンキャンパス内で実施

2025年 **6月15日(日)**、**7月20日(日)**、
8月16日(土)、**8月17日(日)**

※オープンキャンパス参加には事前申込が原則必要です
※あらかじめ説明会の開催時間をご確認ください

説明会の内容

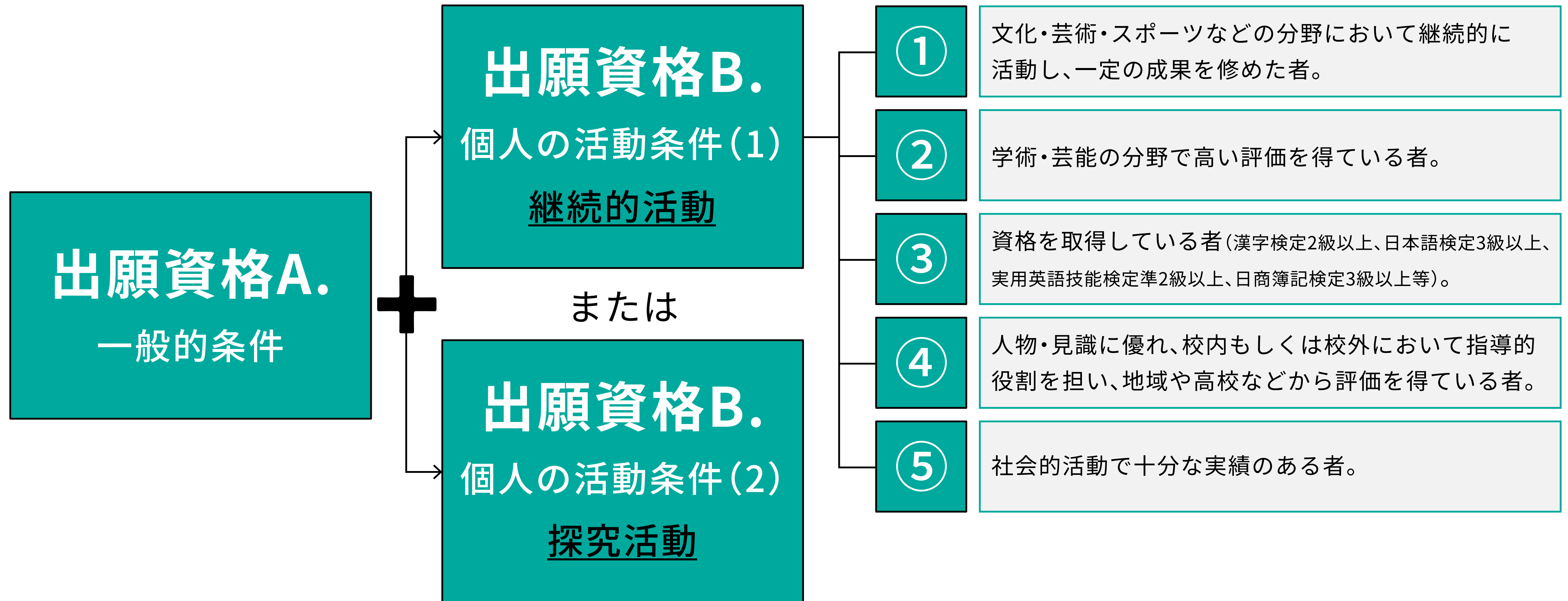
■ 法学部総合型選抜入試の概要

2 活動評価型（レポート方式）の説明

■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

活動評価型 | 出願資格について

【出願可能な条件】



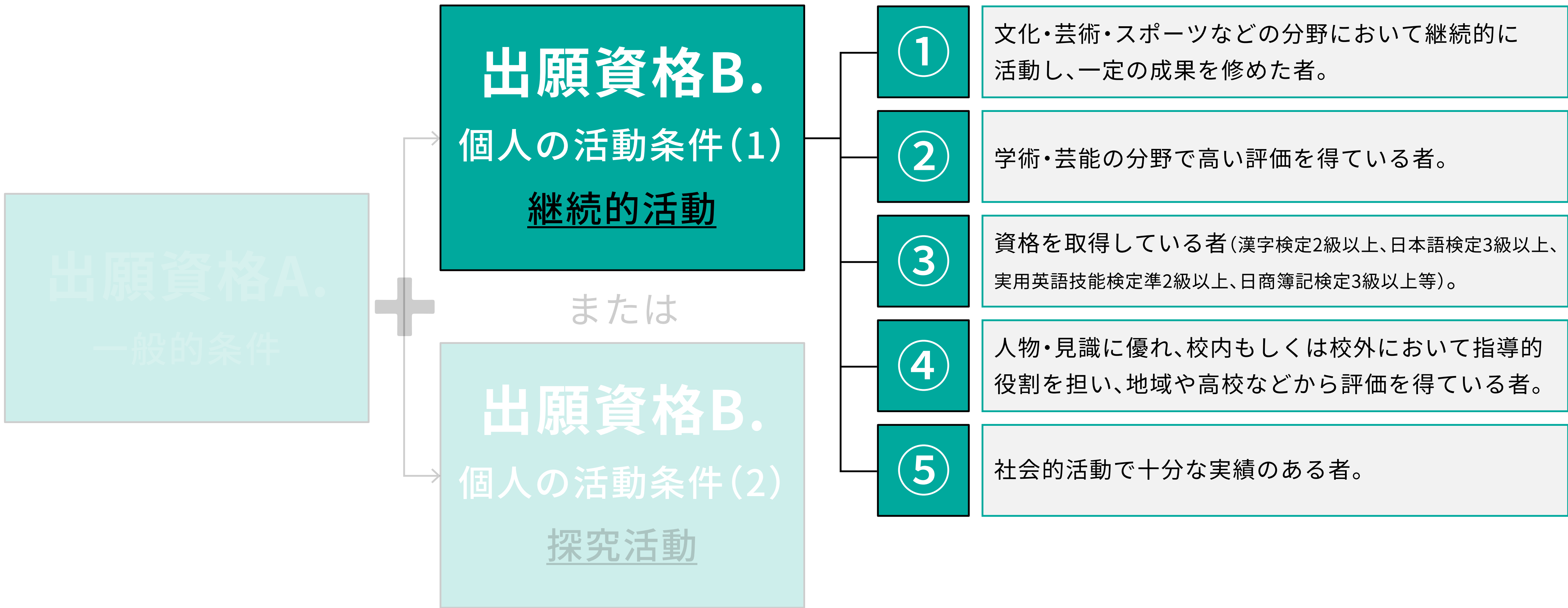
出願資格A. 一般的条件

下記のいずれかに該当する者であること。

- ① 2025年3月に高等学校・中等教育学校を卒業した者、または2026年3月に高等学校・中等教育学校を卒業見込みの者。
- ② 2025年3月に高等専門学校第3学年次を修了した者、または2026年3月に高等専門学校第3学年次を修了見込みの者。
- ③ 2026年3月31日までに満18才に達し、2024年4月1日から2026年3月31日までに文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格、または合格見込みの者

活動評価型 | 出願資格について

【出願可能な条件】



出願資格B. | 個人の活動条件(1)

継続的活動

(例)

3年間継続して
部活動に励んだ！



論文や学会発表が
認められた！



継続的に勉強して
資格試験に合格！



生徒会長として
問題点を改善！



ボランティア活動で
社会貢献！



【出願可能な条件】

1

2

3

4

5

このほかの活動による合格例も多数！
詳しくはオープンキャンパスで先生に直接聞いてみよう！



出願資格B. | 個人の活動条件(1)

継続的活動

(例)

3年間継続して
部活動に励んだ！

論文や学会発表が
認められた！

継続的に勉強して
資格試験に合格！

生徒会長として
問題点を改善！

ボランティア活動で
社会貢献！



【出願可能な条件】

①

②

③

④

⑤

POINT!!

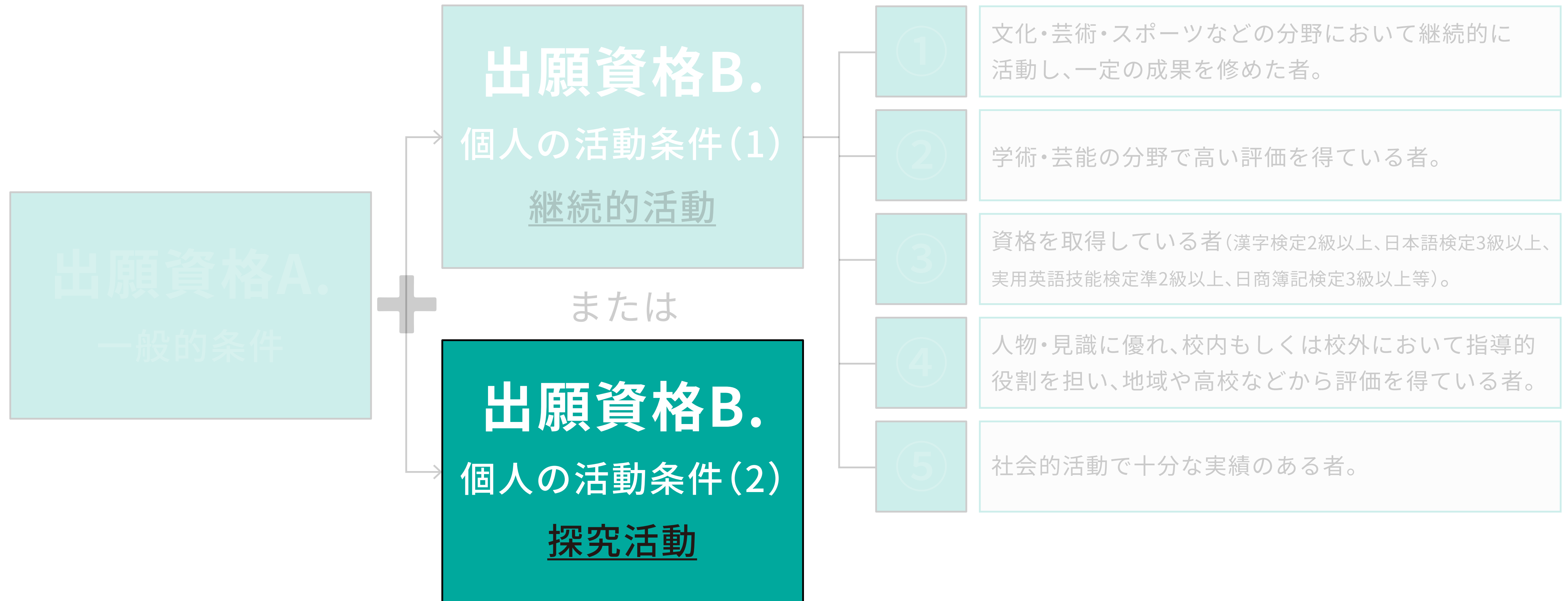
1項目または複数項目に該当

+

その(それらの)活動を通じて
どのように自分が成長できたか？

活動評価型 | 出願資格について

【出願可能な条件】



出願資格B. | 個人の活動条件(2) 探究活動

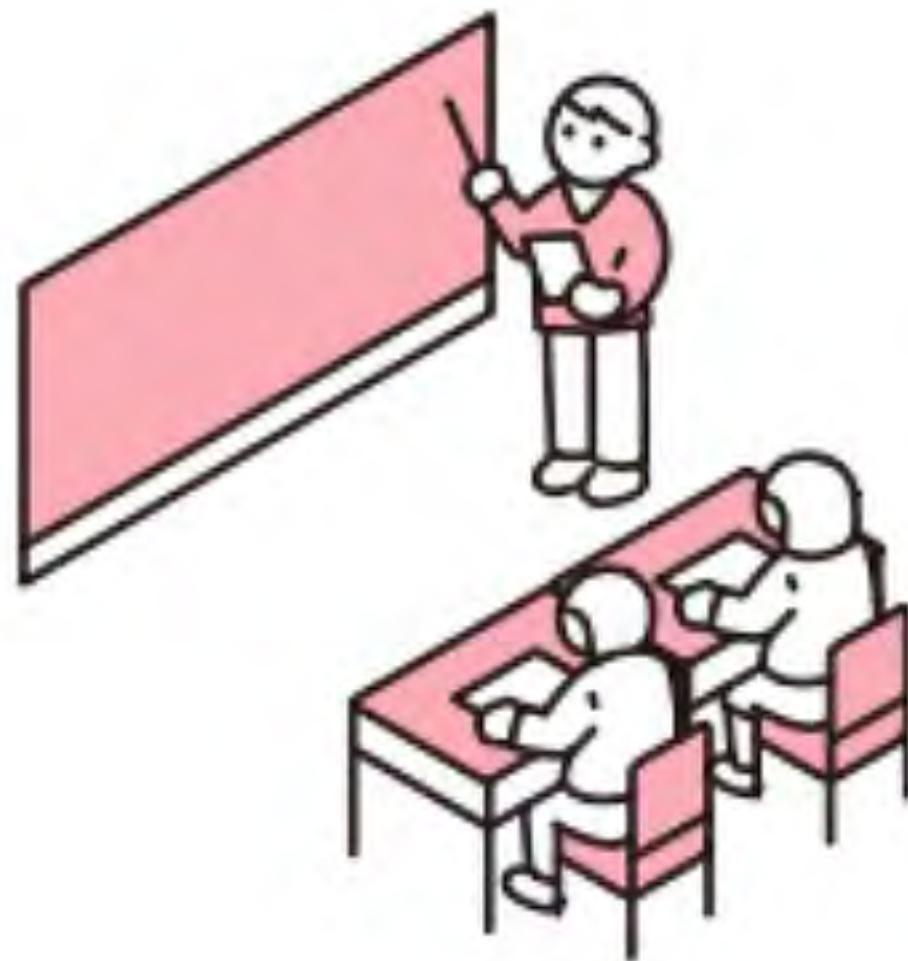
高等学校等での教育課程において学習した内容について、法律・政治・社会問題に関する探究活動に取り組んでいる、もしくは取り組んだ者(法律・政治・社会問題の観点から自ら調べ、自分なりの意見を述べられる者)。

高校等の授業をきっかけに、皆さんが自由に知識や自分の考えを深めた取り組みが評価対象！



こんな活動待っています！

高校の社会科の
授業で社会保障に
ついて学んだら…



日本と海外の社会保障
政策の違いが気になったので
書籍や政府HPでたくさん
情報を集めて…



夏休みに集中して
勉強して考えてみたら
日本の政策の問題点
が見えてきた！





この取り組みを通じて得た知識の量・内容だけでなく、
「探究」の過程でどのように自分が成長できたか？
という点を審査します

(例)



読解力



コミュニケーション力



情報収集力

こんな場合は？



3年間剣道部を頑張り、高2の夏には英検2級も取得しました。また高校の授業で習った「三権分立」が気になり、部活を引退した後、夏休みを利用して地元の裁判所へ裁判傍聴にも行ってみました。実際の裁判を見学してたくさん疑問が浮かんだので、図書館やインターネットで文献を調べたり、現役の弁護士の方にアンケートを取ったりして、日本の裁判手続の問題点を考えてみました。こうした経験から、将来日本の裁判に携わる仕事に就きたいと考えるようになりました。

総合型選抜入試を受験する場合、「出願資格B.個人の活動条件」(1)と(2)、どちらに該当するでしょうか？

「個人の活動条件」(1)と(2)両方に該当します。両方を選択して出願してください。
(※具体的な出願方法は次に説明します)



説明会の内容

■ 法学部総合型選抜入試の概要

2 活動評価型（レポート方式）の説明

▶ 出願書類と第1次選考について

■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

活動評価型 | 審査対象となる書類

課題（レポート）

※所定様式あり

エントリーシート

・志望理由書

※800字以内：所定様式あり

合格証明書のコピー

※出願資格B.(2)③で
出願する場合のみ

調査書

※所属学校の任意の様式

活動評価型 | 審査対象となる書類

課題（レポート）

※所定様式あり

エントリーシート

・志望理由書

※800字以内：所定様式あり

合格証明書のコピー

※出願資格B.(2)③で
出願する場合のみ

調査書

※所属学校の任意の様式

重要 活動評価型 | 課題(レポート)のテーマ

「出願資格B. 個人の活動条件」に該当する活動の詳細と、そこから得た自身の成長について、**750字以上1000字以内**で書いてください。

注意事項① エントリーシートのチェック欄

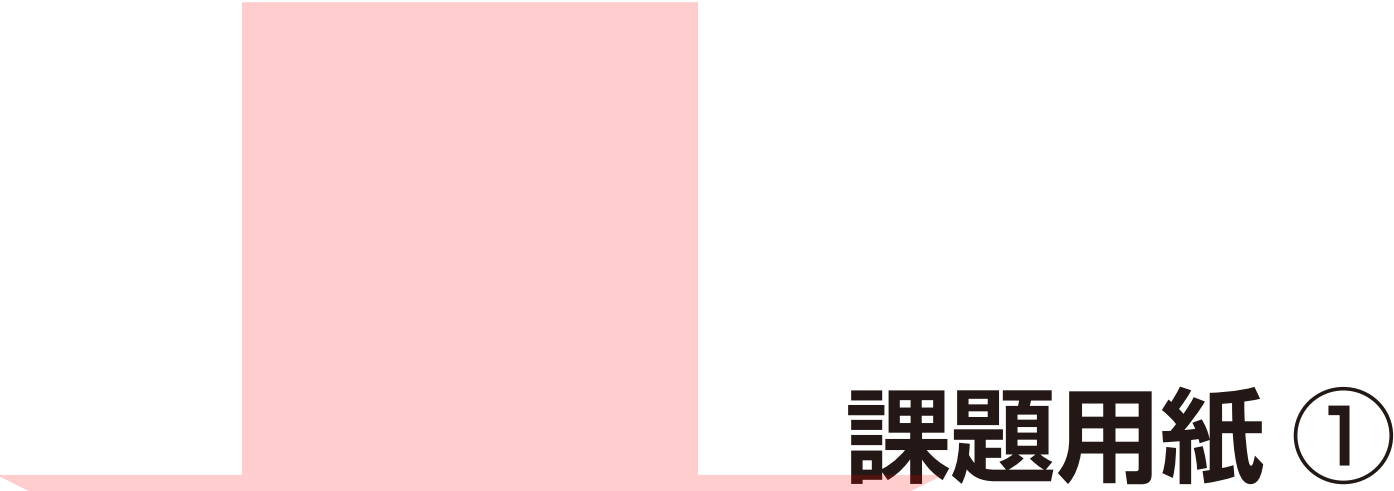
課題（レポート）でアピールしたい項目の全てにチェックを入れてください

（例）「B. 個人の活動条件」に該当項目が複数ある場合

法学部 法学科	B. 個人の活動条件（将来に対する明確な目標を有する者で、(1) または (2) の条件を満たす者） (1) 継続的活動に関する条件（下記のいずれかの条件を有する者） ☒ ① 文化・芸術・スポーツ等の分野において継続的に活動し、一定の成果を修めた者。 ☐ ② 学術、芸能の分野で高い評価を得ている者。 ☒ ③ 資格を取得している者（漢字検定 2 級以上、日本語検定 3 級以上、実用英語技能検定準 2 級以上、日商簿記検定 3 級以上等）。 ☐ ④ 人物・見識に優れ、校内もしくは校外において指導的役割を担い、地域や高校等から高い評価を得ている者（例えば、生徒会活動を行った者、部活動における部長・副部長等を経験した者等）。 ☐ ⑤ 社会的活動で十分な実績のある者。 (2) 探究活動に関する条件（下記の条件に該当する者） ☒ 高等学校等での教育課程において学習した内容について、法律・政治・社会問題に関する探究活動に取り組んでいる、もしくは取り組んだ者（法律・政治・社会問題の観点から自ら調べ、自分なりの意見を述べられる者）。
---------	--

注意事項② 課題用紙のテーマ欄

課題用紙のテーマ欄には「出願資格B. 個人の活動条件」と記入



この課題は受験者本人の自筆にて記入してください（横書き）。
2題以上ある場合や記入欄が不足する場合は必要分をコピーして使用してください。
黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。書き間違えた場合は、修正液等を使用してください。
入学試験要項「5. 選考方法（20ページ～）」、「6-3. 出願書類（40ページ～）」をよく確認してください。

志望学部	法 学部	入試区分	※該当する方に○をつけてください。	
			活動評価型 ○	探究実践型 ○

テーマ	出願資格B. 個人の活動条件	氏名	立正 太郎
-----	----------------	----	-------

POINT!!

審査の観点

具体的な活動内容とそれを通じた自分の成長について

客観的

かつ

論理的

に

説明できているか？

説明会の内容

■ 法学部総合型選抜入試の概要

2 活動評価型（レポート方式）の説明

▶ 第2次選考について

■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

活動評価型 | 面接内容の具体例



志望理由

- なぜ法学部なのですか？
- なぜ立正大学なのですか？

個人の活動

- 出願書類に記載された内容について深く掘り下げ質問します

高校生活

- 学習・部活動等の高校生活全般について質問します

想定される質問への回答を丸暗記するのではなく
皆さんの率直な声をきかせてください！



説明会の内容

- 法学部総合型選抜入試の概要
- 活動評価型（レポート方式）の説明
- 3 ■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明**

探究実践型 | 出願資格について

探究実践型(ゼミナール方式)の出願資格

下記のいずれかに該当する者であること。

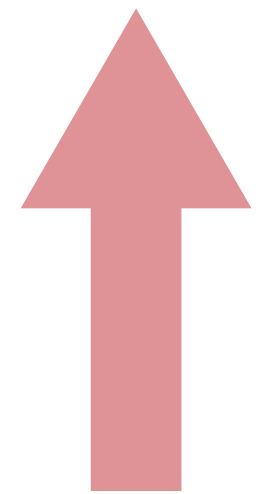
- ① 2025年3月に高等学校・中等教育学校を卒業した者、または2026年3月に高等学校・中等教育学校を卒業見込みの者。
- ② 2025年3月に高等専門学校第3学年次を修了した者、または2026年3月に高等専門学校第3学年次を修了見込みの者。
- ③ 2026年3月31日までに満18才に達し、2024年4月1日から2026年3月31日までに文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格、または合格見込みの者

探究実践型（ゼミナール方式） | 入試の流れ

第2次選考

対面実施

議題についてグループで話し合い、
グループで1つの提言をまとめてください



第1次選考

書類選考

第2次選考でのグループディスカッションに備えて、
議題について調べ学習を行い、調べたことを所定の
様式にメモして提出してください

説明会の内容

■ 法学部総合型選抜入試の概要

■ 活動評価型（レポート方式）の説明

3 ■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

▶ 出願書類と第1次選考について

探究実践型 | 審査対象となる書類

課題（レポート）

※所定様式あり

エントリーシート

・志望理由書

※800字以内：所定様式あり

調査書

※所属学校の任意の様式

課題（レポート）の提出について

- 調べ学習を通して、**議題について多角的に調べたかどうか**が評価のポイントになります
- 調べ学習で調べたことは、**箇条書き程度で、所定の書式に記入**してください
- **議題は入試要項で公表**されます

調べ学習で調べたことの記入例

※以下は過年度の例です。今年度のテーマは入学試験要項でご確認ください。

様式P (2/2)	
課題用紙 ②	
※A4片面印刷。1/2～2/2をまとめて左上をホチキス止めしてください。	
〈2025年度 立正大学 総合型選抜入学試験〉	
課題用紙 ②	
法学部（探究実践型／ゼミナール方式）課題（レポート）	
氏名	立正 太郎
（黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。書き間違えた場合は、修正液等を使用し訂正してください。自筆。横書き。）	
若者の投票の状況について	
・2021年総選挙での投票率は、20代が全世代最低で36.50%、10代が43.23%（総務省サイト）	
・ただしそれでも、2017年総選挙の時よりはそれぞれ3%ほど上昇した。（同上）	
・山形県遊佐町は全国一レベルで投票率が高い。「少年議会」を実施している影響が大きい（NHKウェブサイト）	
→やはり政治参加をすることが重要	

課題(レポート)の提出について 注意

- 第1次選考で提出した課題レポートは、コピーなどして手元に置いておいてください
- 書類を提出した後、第2次選考のディスカッションに臨むまでに、調べ学習をつづけても構いません
- 手元に置いておいたコピーや、その後の調べ学習で作成した資料などは、第2次選考のディスカッションに持ち込んでも構いません
※ただし電子機器の持ち込みと使用はできません

説明会の内容

■ 法学部総合型選抜入試の概要

■ 活動評価型（レポート方式）の説明

3 ■ 探究実践型（ゼミナール方式）の説明

▶ 第2次選考について

探究実践型 | グループディスカッション

- 受験生5、6名で1グループを作り、議題について話し合い、**グループで1つの提言**をまとめてもらいます

※グループの人数などは、変更の可能性もあります

- **議論に積極的に参加することが、評価のポイントです**

積極的に
議論に
参加する



評価の
POINT

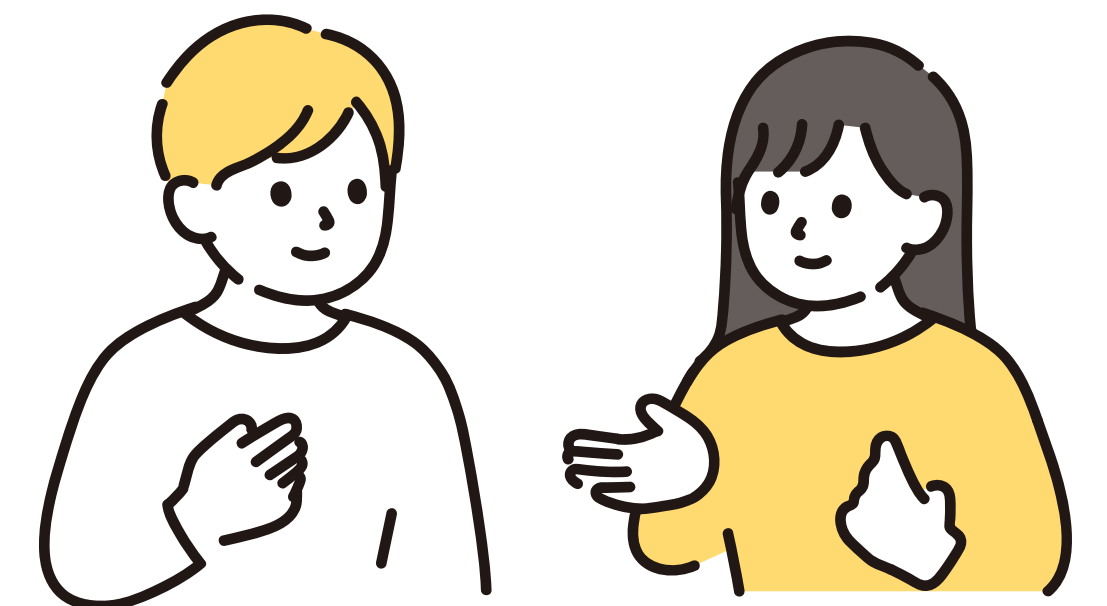
自分の意見を説得力をもって説明できる

他者の言うことを尊重し、適切に聞くことができる

議論をリードすることができる

議論を整理することができる

あえて反論することで、みんなが気づかなかったことを気づかせ、議論をよりよいものにする など



重要 アンケート提出

総合型選抜入試の受験にはアンケートの提出が必須です

立正大学WEBオープンキャンパスサイト上のURLリンクまたは下記に表示されるQRコードからアンケート提出画面にアクセスしてください



ここからアクセス!! ▶



※続いて入力上の注意事項を説明します
誤情報を入力した場合は提出が無効になりますので必ず視聴してください

重要 入力上の注意事項

- 受験するご本人の情報を入力してください
- 最後の質問には **rislaw** (全てアルファベット小文字) を入力してください
- 質問項目に全て回答したら末尾の送信ボタンをクリックしてください
- 「アンケートの提出が完了しました」という表示を確認し、自身のe-mailアドレスにアンケート回答内容控えが送られてきていることを確認してください
- **受信した回答内容のメールは受験結果が出るまで大切に保存**してください
- アンケートがうまく表示されない・提出できない等の場合は
立正大学法学部事務室 03(3492)3183 までお問合せください